

開 会 午後3時59分

●小須田大拓委員長 ただいまから、経済観光委員会を開会いたします。

報告事項は、特にごございません。

議事に入ります前に、一言、ご挨拶を申し上げます。

今年度、経済観光委員長を拝命いたしました自民党の小須田でございます。

委員の皆様のご意見を丁寧に取りながら、札幌市、そして、市民の皆様にとって意義のある委員会となるよう円滑な運営に努めてまいります。

委員の皆様、そして理事者の皆様、議会事務局の皆様、1年間、どうぞよろしく願いいたします。(拍手)

●小須田大拓委員長 それでは、議事に入ります。

最初に、副委員長の互選を行います。

ご発言はございませんか。

(村山委員「委員長」と呼び、発言の許可を求む)

●村山拓司委員 副委員長の指名推選の動議を提出いたします。

副委員長には、定森 光委員を推薦する動議であります。

●小須田大拓委員長 ただいまの動議のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

●小須田大拓委員長 異議なしと認め、副委員長には、定森 光委員が選任されました。

それでは、副委員長席にご移動の上、就任のご挨拶をお願いいたします。

●定森 光副委員長 ただいまご選任いただきました民主市民連合の定森 光です。

小須田委員長とともに、委員の皆様、理事者の皆様と闊達な議論、そして、円滑な委員会運営となるように精いっぱい頑張っておりますので、

1年間どうぞよろしく願いいたします。(拍手)

●小須田大拓委員長 次に、関係理事者の紹介及び所管事務概要の説明聴取を議題といたします。

最初に、病院局の関係理事者の紹介及び所管事務概要の説明聴取を行います。

なお、個々にご指名はいたしませんので、順次、自己紹介をしていただいた後、引き続き所管事務概要の説明をお願いいたします。

●西川病院事業管理者 経営管理室長以下の自己紹介をさせていただきます。

(理事者自己紹介)

●西川病院事業管理者 それでは、今年度の病院事業についてご説明させていただきます。

当院は、高度急性期医療の提供や、ほかの医療機関では対応が難しい患者さんへの治療など、市民のため最後のとりでとして地域の医療機関を支えるという当院の使命を果たすべく、日々力を尽くしているところでございます。今年度は、物価高騰や賃金上昇、人手不足への対応を柱とした約30年ぶりの高水準となる診療報酬改定が行われます。しかし、経営の抜本的な安定にはいまだ遠く、病院経営を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にございます。

当院といたしましては、今後も経営基盤の強化に努め、職員一丸となって医療の質の向上、そして、収支改善に努力してまいります。

それでは、病院局の事業の概要につきましては、お手元の資料により、経営管理部長の菊地から説明させていただきます。

●菊地経営管理部長 当院の事業概要につきまして、資料に沿ってご説明いたします。

資料の2ページをご覧ください。病院局の機構でございます。

資料の2列目、3列目にありますとおり、市立札幌病院は、呼吸器内科から救命救急センターま

で33の診療科と、臨床工学科、栄養科の二つの科、さらに右側の列の看護部をはじめ七つの部、臨床研修センターで構成されております。

続きまして、3ページは職員定数でございます。上から3段目が診療部門でありまして、右側を見ていただきますと、一番上から医師175名、歯科医師2名など、236名の定数となっております。そのほか、一番下の段の看護師、助産師676名など、病院局の職員定数は、合計1,112名となっております。

続きまして4ページ目は、市立札幌病院の事業概要でございます。

左上には、入院・外来それぞれの主要な指標を載せております。

入院につきましては、令和7年度の決算見込みが81.5%と、6年度決算より4.2ポイント上昇していることに加えまして、救急患者の受入れ拡大などの取組を進めていることから、令和8年度予算の病床稼働率は85.0%、延べ患者数は20万8,500人、1日当たり571人と見込んでおります。

次に、外来につきましては、原則、紹介制の浸透を考慮し、延べ患者数を7年度決算見込みの患者数と同数の25万5,000人、1日当たり1,058人と見込んでおります。

次に、左下の囲みをご覧ください。

こちらには、令和8年度予算の特徴を3点挙げております。

一つ目は、経営健全化の検討でございます。適切な病床規模を踏まえた複数の再整備手法の調査検討を行うことに加えまして、経営改善に向けた費用の見直しなどを進めるための課題調査の委託費として6,700万円を計上しております。

二つ目は、照明設備LED化工事でございます。令和9年度末にかけて、蛍光灯の製造及び輸入が禁止となることに伴いまして、院内の照明設備をLED化するための工事費として約1億2,400万円を計上しております。

三つ目の手術用医療機器の更新でございますが、

脳神経外科や眼科等の手術に使用する顕微鏡、内視鏡、白内障、硝子体手術装置の更新費用として約2億900万円を計上しております。

続きまして、資料右上の収益的収支の主な項目についてご説明いたします。

表の1行目でお示ししている令和8年度予算の収益的収入は約291億円であり、そのうち診療収益については約262億円を見込んでおります。

これは令和7年度予算と比較しますと、約22億円の増加となっており、その内訳は入院で約18億円、外来で約4億円の増加をそれぞれ見込むものであります。また、この中には、今年6月から適用される診療報酬改定分として、約7億円の影響額を見込んでいただいております。

その下の一般会計繰入金については、約14億円を見込んでおり、前年度とほぼ同額を見込んでおります。

その他の項目は約16億円であり、この中には、令和7年12月から指定を受けた拠点型救急医療機関の補助金2,300万円を計上しております。

次に、収益的支出は約299億円であり、そのうち給与費については、令和7年9月の人事委員会勧告による給与引上げなどにより、前年度比で約5億円増加の約136億円を見込んでおります。

また、材料費は薬品費の増加などにより、前年度比で約9億円の増加、経費等につきましては委託料の増加などにより、前年度比で約1億円の増加を見込んでおります。

この収益的収入から収益的支出を差し引いた収支差引きは、下段網かけ部分のとおり約8億円の赤字となっております。

続きまして、その下の資本的収支の表をご覧ください。

資本的収入では約14億円を見込んでおり、前年度と比較して約3億円の減少となります。

その下、資本的支出では約20億円を見込んでおり、前年度と比較して約4億円の減少となります。この資本的収入から資本的支出を差し引いた収

支差引きは、下段網かけ部分のとおり、約6億円の収支不足となっております。

これらの収支の動きに減価償却などによる留保資金や過年度までの資金残及び一般会計からの長期借入金約30億円を加えた8年度末の資金残は、資料最下段に記載のとおり、約3億円の資金不足となります。

なお、不足する資金につきましては、他会計などからの一時借入れにより措置したいと考えているところです。

続きまして、5ページは総括表となっており、また、その次、6ページは業務量でございます。こちらは、ただいまご説明した内容のとおりとなっておりますので、説明は省略させていただきたいと思っております。

続きまして、7ページ、主要事業でございます。

令和8年度予算の建設改良費につきましては、左側の病院整備費として約3億3,900万円を計上しております。さきにご説明した照明設備LED化工事のほか、調査によりタイルの剥離が確認された外壁の改修工事や、歩行者用の雨及び雪よけの屋根であるキャノピーに防水層の劣化が見られたため、改良工事を計画的に進めていく予定でございます。

右側の医療機器購入費等については、5億3,900万円を計上しております。さきにご説明した手術用医療機器の更新が主な項目であり、それぞれ耐用年数を超過してくることによる更新となっております。

左下の円グラフは、建設改良費約9億円の財源を示したものです。

このうち企業債は約8億円であり、この発行分を加えた8年度末の企業債残高は約48億円となる見込みでございます。

続きまして、8ページは直近5年間の傾向でございます。

まず、左上の表では、棒グラフで延べ入院患者数、折れ線グラフで入院単価の推移を示しており

ます。このうち、延べ入院患者数につきましては、救急患者を断らずに受け入れることや紹介患者を増やすために、地域の連携医療機関への訪問活動を強化するなどの取組を進めることにより、年々増加しているところです。

また、入院単価につきましては、診療報酬の改定による増加分や、当院の医療水準に見合った診療報酬の加算の取得のほか、看護体制が手厚く、診療報酬が高い救命救急センター内のハイケアユニット病床の利用率の向上を見込んだことから、令和7年度よりも大きく単価が増加しているところです。

また、右上の表では、棒グラフで入院収益、折れ線グラフで病床稼働率の推移を示しており、どちらも年々増加しております。

次に、左下の表では、棒グラフで延べ外来患者数、折れ線グラフで外来単価の推移を示しておりまして、8年度予算では、7年度決算見込みと同様に、25万5,000人の延べ外来患者数を見込んでおります。

以上のように、収益は大きく増加しているものの、近年の物価高騰の影響によりまして、委託料や材料費、給与費などの費用がこれを上回って伸びております。そのため、右下の表の折れ線グラフのとおり、新型コロナウイルス患者の受入に係る病床確保補助金が終了した令和5年度以降、経常収支は赤字が続いております。

このため、棒グラフにてお示ししたとおり、資金残は年々減少しており、一般会計から30億円の長期借入れをしてもなお、8年度末には資金残がマイナスとなる見通しとなっております。

また、先ほどお示ししたとおり、不足する資金につきましては、他会計などからの一時借入れにより措置したいと考えているところです。

最後になりますが、厳しい状況を踏まえまして、今後もさらなる経営改善の取組を進め、市民のため、最後のとりでとして、地域の医療機関を支えるという使命を果たしながら、中期経営計画2025

の計画期間内の経常収支の黒字化と資金残高の確保を目指し、持続可能な病院経営を行ってまいりたいと考えております。

●小須田大拓委員長 ただいまの説明に対して、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

●小須田大拓委員長 なければ質疑を終了いたします。

ここで、理事者交代のため、委員会を暫時休憩いたします。

---

休 憩 午後 4 時 13 分

再 開 午後 4 時 14 分

---

●小須田大拓委員長 委員会を再開いたします。

次に、交通局の理事者の紹介及び所管事務概要の説明聴取を行います。

個々にご指名はいたしませんので、順次、自己紹介をしていただいた後、引き続き所管事務概要の説明をお願いいたします。

●梅田交通事業管理者 交通局は、公共交通ネットワークの中核として、地下鉄と路面電車を最大限に活用し、市民の皆さんの豊かな暮らしとまちの発展を支えるという重要な役割を担ってございます。

引き続き、安全・安心な運行と効率的な事業運営に努めますとともに、新たな技術を積極的に導入し、時代に合わせたサービスを提供してまいりますので、経済観光委員の皆様方には、これから1年間よろしくお願いを申し上げます。

それでは、各部長から自己紹介をさせていただいた後に、事業管理部長から、配付資料に基づきまして、交通局の事業概要についてご説明を申し上げます。

（理事者自己紹介）

●本山事業管理部長 それでは、札幌市の交通

事業の概要につきまして、配付資料に基づきましてご説明をいたします。

まず、1 ページ目の交通局の組織をご覧ください。

まず、機構でございますが、梅田交通事業管理者以下、事業管理部長、高速電車部長、技術担当部長、事業調整担当部長の部長職4名、課長職16名の体制となっております。

次に、今年度の職員定数の主な変更点についてご説明をいたします。

地下鉄車両の整備を行う3か所の車両基地につきましては、これまで1名の研修担当課長が所管をしておりましたが、南車両基地の耐震改修工事等の大規模事業へ対応するため、今年度から担当課長を1名増員し、2名体制としております。

これによりまして、今年度の職員定数は、令和7年度と比較して、3名増の560名となっております。

なお、資料下段に、参考として記載しております、一般財団法人札幌市交通事業振興公社への課長職以上の派遣につきましては、部長職1名、課長職2名となっております。

続きまして、2ページの令和8年度軌道整備事業会計の概要をご覧ください。

こちらは、路面電車の業務量等予算の状況を記載しております。なお、予算総括表の計数の読み上げにつきましては、100万円未満を切り捨てて説明をさせていただきます。

まず、(1)ですが、上下分離における軌道運送事業者である札幌市交通事業振興公社が担う業務量を記載しております。

年間の輸送人員につきましては、943万6,000人、輸送人員の1日平均につきましては、2万5,000人を見込んでおり、令和7年度と比較すると2.2%の減となります。

また、乗車料収入につきましては、年間で18億3,500万円を見込んでおり、令和7年度と比較すると1.3%の減となります。

次に、軌道整備事業会計の（２）予算総括表で  
ございます。

収益的収入及び支出の差引きは、中段右側の①  
のとおり 1 億円の黒字を見込んでおり、最終的な  
資金残は②のとおり 4 億 2,400 万円となります。  
なお、③のとおり、一般会計からの資金手当であ  
る長期借入金残高は 4 億 2,400 万円となります。

続きまして、3 ページの（３）主要事業（建設  
改良費）をご覧ください。

まず、車両基地改良事業等として電車事業所の  
改良建築工事を行います。

次に、車両関係事業として低床車両 1 両、ポラ  
リスの導入や車両設備の更新などを行います。

そのほか、軌道更新・街路拡幅関連事業等を進  
めてまいります。

続きまして、4 ページの令和 8 年度高速電車事  
業会計の概要をご覧ください。

こちらは、地下鉄の業務量と予算の状況を記載  
しております。

まず、（１）業務量でございます。

年間の輸送人員につきましては 2 億 3,800 万人、  
輸送人員の 1 日平均につきましては、65 万 3,000  
人を見込んでおり、令和 7 年度と比較すると  
5.2%の増となります。

また、乗車料収入につきましては、年間で 461  
億 2,000 万円を見込んでおり、令和 7 年度と比較  
すると 5.8%の増となります。

次に、（２）予算総括表でございます。

収益的収入及び支出の差引きは、中段右側の①  
のとおり、73 億 6,400 万円の黒字を見込んでおり  
ます。最終的な資金残は②のとおり、69 億 8,900  
万円となりますが、コロナ禍で発行が認められた  
資金手当債である特別減収対策企業債残高が 179  
億円ほどあり、この企業債の満期一括償還が令和  
12 年度から始まりますので、それに備える必要が  
あります。

続きまして、5 ページの（３）主要事業をご覧  
ください。

まず、老朽化対策については、南車両基地等の  
耐震改修工事を行うほか、本局庁舎の大規模改修  
などの事業を進めてまいります。

次に、バリアフリー化としては、段差隙間縮小  
に向けた駅ホームの改良、旅客用トイレの洋式化  
等の改修を行ってまいります。

新設・追加投資等につきましては、南北線さつ  
ぽろ駅のホーム増設工事を引き続き進めるほか、  
駅業務の省力化事業などにも取り組みます。

●小須田大拓委員長 ただいまの説明に対して、  
質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

●小須田大拓委員長 なければ、質疑を終了い  
たします。

ここで理事者交代のため、委員会を暫時休憩い  
たします。

---

休 憩 午後 4 時 21 分

再 開 午後 4 時 23 分

---

●小須田大拓委員長 委員会を再開いたします。

次に、スポーツ局の関係理事者の紹介及び所管  
事務概要の説明聴取を行います。

個々にご指名はいたしませんので、順次、自己  
紹介をしていただいた後、引き続き所管事務概要  
の説明をお願いいたします。

●小野寺スポーツ局長 私どもスポーツ局では、  
これまで、市民の皆様のスポーツの推進に向け  
様々な取組を進めてまいりました。

今年度においても引き続き、多様な方々が様々  
な機会において、気軽にスポーツに親しむことが  
できるよう、環境整備に努めるとともに、国際的  
なスポーツ大会等の誘致を積極的に進めるなど、  
スポーツを通じたまちづくりを推進してまいりま  
す。

委員の皆様には、引き続き、お力添えのほどよ  
ろしくお願い申し上げます。

それではまず、本日出席しております各部長か

ら自己紹介をさせていただきます。

(理事者自己紹介)

●小野寺スポーツ局長　それでは、スポーツ局所管事務につきまして、スポーツ部長からご説明申し上げます。

●奥木スポーツ部長　お手元の資料の5ページをご覧ください。

令和8年度におけるスポーツ局の予算は、総額74億2,000万円余でございます。前年から8億9,000万円余の減、比率で10.7%の減となっております。

これは、市民運動広場の整備や、藤野野外スポーツ交流施設のリニューアルが令和7年度に終了したことなどによるものです。

次に、スポーツ局の主な事業について、新規やレベルアップした事業を中心にご説明させていただきます。

まず、上から6行目のウインタースポーツ普及振興費でございます。

これは、子どもの頃からスキーやスケートなどを体験できる機会を創出し、札幌の特色であるウインタースポーツを振興するため、スキーリフトやスキー、スケートのレンタル料金の助成などを行うもので、令和6年度に拡充したスキーリフト料金助成及び市内中学校へのスキーインストラクター派遣について、引き続き実施してまいります。

次に、3行下の障がい者スポーツ普及促進費でございます。

これは、障がい者スポーツの普及促進を通して共生社会の実現につなげていくため、体験会や指導者等の養成講習会を開催するほか、全国大会への札幌選手団派遣などを実施するもので、令和8年度は、昨年度に初めて開催したSAPPOROスポーツバリアフリーの開催回数を増やし、継続的に実施してまいります。

続いて、一番下のアマチュアスポーツ大会主催

者支援補助金でございます。

これは、大和ハウスプレミストームで行われるアマチュアスポーツ大会の開催を支援するもので、主催者に対して施設利用料を補助してまいります。

6ページに移りまして、下から5行目の国際スポーツ大会等誘致促進費でございます。

これは、国際的なスポーツ大会やイベント等の誘致、開催支援を行うものです。令和8年度は、冬季スポーツ大会などの誘致に加え、eスポーツ大会、Apex Legends Global Series Championshipへの補助を行ってまいります。

次に、一番下のさっぽろスノースポーツパーク開催負担金でございます。

シティクロスカントリースキー事業と併せて令和6年度から実施してきたスポーツ体験型イベントをさらに発展させるため、新たに予算化するものです。コンテンツを強化することで、市内や国内外から誘客増を図り、地域経済の活性化につなげてまいります。

7ページに移りまして、上から4行目の大倉山ジャンプ競技場等改修費でございます。

大倉山ジャンプ競技場での国際大会の継続開催へ向けたラージヒルの改修設計を進め、年度内に工事契約を行うとともに、ノーマルヒル併設化に向けた大倉山のさらなる魅力向上に関する検討を進めてまいります。

次に、その下の新スケート・カーリング場整備費でございます。

これは、美香保体育館の後継施設を整備するもので、令和8年度は、設計工事に係る事業者公募選定手続を進めており、年度内の業務着手を予定しております。

続いて、3行下のスポーツ施設リフレッシュ費でございます。

これは、スポーツ施設の保全改修及び老朽化した大型備品の更新を行うもので、令和8年度は円

山球場の保全改修や東雁来公園サッカー場の人工芝改修等を進めてまいります。

●小須田大拓委員長 ただいまの説明に対して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

●小須田大拓委員長 なければ質疑を終了いたします。

ここで理事者交代のため、委員会を暫時休憩いたします。

---

休 憩 午後 4 時 29 分

再 開 午後 4 時 30 分

---

●小須田大拓委員長 委員会を再開いたします。最後に、経済観光局の関係理事者の紹介及び所管事務概要の説明聴取を行います。

なお、個々にご指名はいたしませんので、順次、自己紹介をしていただいた後、引き続き所管事務概要の説明をお願いいたします。

●和田経済観光局長 それでは、担当局長、農業委員会会長及び各部長から自己紹介をさせていただきます。よろしく願いいたします。

（理事者自己紹介）

●和田経済観光局長 それでは、経済観光局の事務概要につきまして、各部長からご説明申し上げます。

●柄澤産業振興部長 それでは、経済観光局関連の事務概要につきまして、お配りした資料に基づいてご説明をいたします。

初めに、1 ページから 5 ページの機構図をご覧ください。

経済観光局では、令和 8 年度に機構再編がありましたので、概要をご説明いたします。

まず、企業への経営支援や人材確保をより一層推進するため、新たに経営雇用支援担当局長を配置し、経営支援・雇用労働担当部を経営雇用支援

部として新設いたしました。

続きまして、令和 7 年度までまちづくり政策局で所管していたGX推進室についてですが、GX金融・資産運用特区の指定やGX推進税制の施行といった環境整備を順調に進めてまいりました。令和 8 年度からは、いよいよ企業誘致や、それを通じた市内経済の活性化に向けた取組を本格化させるため、経済施策とより一層緊密に連携した取組が必要であることから、水素事業を除き、経済観光局へ移管することといたしました。

次に、7 ページから事務分掌を掲載しております。

7 ページから 9 ページが経済観光局、10 ページは農業委員会事務局となっております。11 ページは農業委員会の概要、12 ページは農業委員会委員名簿、13 ページは農地利用最適化推進委員名簿でございます。

続きまして、令和 8 年度予算についてご説明をいたします。

資料の 15 ページをご覧ください。なお、金額につきましては各数値 100 万円未満切捨てでご説明をいたします。また、資料中の本年度予算額及び前年度予算額は、令和 8 年度の機構における予算額となっております。

一番上段にあります一般会計における経済観光局全体の令和 8 年度歳出予算額は、1,130 億 7,200 万円であり、前年度予算額と比較し、98 億 8,300 万円、9.6%の増となっております。

これは、主に札幌産業展示場整備費において、新展示場の整備費用が増加したことなどによるものでございます。

次に、部別の内訳をご覧ください。

産業振興部の予算額は 172 億円で、前年度予算額と比較して 138 億 7,200 万円、416.8%の増となっております。

それでは、産業振興部の主な事業についてご説明をさせていただきます。

初めに、15 ページ中段、ものづくり産業振興推

進費の1項目め、新製品開発・販路開拓支援費でございます。

この事業は、本市の経済を牽引する中小・小規模企業の発展を後押しするため、新製品・新技術の開発にチャレンジする企業の取組に対する補助や、航空宇宙、半導体といった先端産業への参入支援などを行うものでございます。

次に、15ページ下段、クリエイティブ産業振興推進費の2項目め、コンテンツ産業振興費でございます。

この事業は、ゲーム産業などコンテンツ産業分野の人材育成を目的とした各種事業の実施や、市内での映像制作への補助などを行うものでございます。

次に、16ページ上段、食産業振興推進費の2項目め、食の輸出力強化支援費でございます。

この事業は、市内食関連事業者の輸出力・国際競争力の強化を目的として、顧客や社会的ニーズへの対応に取り組む企業に対する補助や専門家による課題解決支援、マーケティング支援などを行うものでございます。

●庄中経営雇用支援担当局長 経営雇用支援部長の事務取扱をしております私のほうから経営雇用支援部関係の予算につきまして概要をご説明いたします。

16ページ中段の経営雇用支援部と記載された部分をご覧ください。

経営雇用支援部の予算額は878億2,700万円で、前年度と比較し66億4,500万円、7%の減となっております。

続きまして、主な事業についてご説明いたします。

最初に、17ページ上段の中小企業金融対策資金貸付金でございます。

この事業は、中小企業者の円滑な資金調達を支援するもので、小規模事業者や原油・原材料高騰の影響などによって、売上げや利益の減少が生じている事業者の安定的な資金繰りの支援に加えて、

事業の拡大や大型の設備投資のほか、カーボンニュートラルに取り組む事業者の前向きな投資を支援するため、金融機関に貸付資金の預託などを行うものでございます。

続きまして、同じページの下段、雇用労働費の8項目め、就業サポートセンター等事業費でございます。

この事業は、ハローワーク及び民間の職業紹介事業者と連携した各種就労支援事業を行うほか、60歳以上の求職者の情報を求人企業に提供し、求職者と求人企業のマッチングをするなど、高齢者をはじめとする多様な人材の就職を支援してまいります。

●片岡経済戦略推進部長 経済戦略推進部の予算概要につきましては18ページの経済戦略推進部と記載されている部分をご覧ください。

初めに、18ページ下段の海外投資誘致費及び企業立地促進費でございます。

これらの事業では、首都圏や海外へのプロモーション、札幌海外企業受入ワンストップ窓口の運用及び本社機能等の移転に対する補助等を通じ、国内外の企業誘致を推進してまいります。

次に、19ページ、1項目めのITイノベーション推進費でございます。

市内IT産業の市場拡大に向けまして、AI等の先端技術を活用した新たなビジネス創出に向けた産学官連携によるコンソーシアムの運営やセミナーを実施するほか、課題解決型学習・実証プログラム等を実施するものでございます。

最後に、19ページ下段のスタートアップ・エコシステム構築費でございます。

この事業では、札幌、北海道におけるスタートアップ企業の創出や育成誘致に向け、産官学が連携した組織でありますSTARTUP HOKKAIDO実行委員会の運営を通じ、起業家教育や伴走型支援プログラム、行政オープンイノベーション等を実施してまいります。

●小室GX推進室長 続いて、私からはGX推

進室の予算概要についてご説明をさせていただきます。

20ページの1項目めのGX投資推進費でございます。

本事業につきましては、特区による規制緩和やGX推進税制の構築など、これまで国内外から投資を呼び込むための環境整備を進めてまいりましたが、今年度からは、これらの環境を最大限に活用し、良質な投資や金融関連企業等の誘致を実行段階へと移すために、産業育成や企業誘致を担う経済観光局へと所管を変更し戦略的に取り組んでまいります。

●葛西観光・MICE推進部長 観光・MICE推進部の予算概要につきましては、20ページの観光・MICE推進部と記載された部分をご覧ください。

観光・MICE推進部の予算は、4月から導入しました宿泊税により、前年度比で倍増以上の規模となります45億3,900万円となっております。

宿泊税を活用した主な事業につきましては、関連事業者の経営や雇用の安定化に資する閑散期の需要創出や、市民生活の利便性向上にも資する交通環境整備、4月から本格稼働しましたDMOによる各種事業などを予定しております。

宿泊税につきましては、来訪者の満足度向上と観光業の持続的発展を図るため、持続可能な観光地経営の推進、観光資源の磨き上げと付加価値の向上、受入れ環境の整備とおもてなしの向上を三本柱といたしまして、これらに係る新規事業やレベルアップ事業に活用してまいります。

こうした事業への活用に加えまして、22ページ、3項目めに記載しておりますが、新たに観光振興基金を設置しまして、観光施策を安定的かつ効果的に推進するとともに、宿泊税の使途の透明性や年度間の収支変動に対応することとしております。

●高本農政部長 私からは、農政部関係の予算につきまして概要をご説明いたします。

22ページの農政部と記載された部分をご覧ください。

農政部の予算額は4億3,900万円で、前年度と比較し、1億5,400万円、26%の減となっております。

続きまして、主な事業についてご説明いたします。

22ページの農業振興推進費の5項目め、鳥獣被害防止対策推進費でございます。

エゾシカやアライグマなどによる農業被害の軽減に向け、電気柵等の設置補助を継続するとともに、JAさっぽろや猟友会等と連携し、一時集積施設や減容化施設の円滑な運用管理等により、捕獲事業の強化を図ります。

また、ハンターへの保険料等の補助に加え、鳥獣被害対策実施隊を設置することで、より組織的かつ実践的な実施体制を構築してまいります。

次に、23ページのさとらんど運営管理費の2項目め、さとらんど魅力アップ費でございます。

さとらんどはオープンから30年が経過していることから、施設・設備の老朽化対策及びさらなる魅力向上に向けて、民間活力の導入を念頭に、令和7年度に作成した保全計画に基づく再整備方針を検討するものでございます。

●月宮中央卸売市場長 私からは、中央卸売市場事業会計の予算の概要につきましてご説明いたします。

24ページをご覧ください。

中央卸売市場事業会計の予算額は、48億8,600万円で、前年度と比較し、2億4,300万円、4.7%の減となっております。

これは、計画的な施設改修や設備更新に努めたことにより、建設改良費や企業償還金が減少したことによるものでございます。

続きまして、市場の取扱量と取扱額についてご説明いたします。

右の列の中をご覧ください。

まず、年間取扱量でございますが、水産物では、

前年度記録的な不漁となった秋サケやホタテの入荷減少が今年度も継続することを見込み、前年度より5.1%減少の6万3,000トン、青果物では、前年度は高温のため、入荷が減少した玉ねぎやキャベツなどが、今年度は平年並みに回復すると見込み、前年度より5.3%増加の20万5,000トンを見込んでおります。

次に、その下の年間取扱額でございますが、昨今の物価上昇の影響により、単価は高止まりするものとして、水産物では、前年度より1.5%増加の947億円、青果物では、前年度より3.5%増加の633億円を見込んでおります。

●小須田大拓委員長　ただいまの説明に対して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

●小須田大拓委員長　なければ、質疑を終了いたします。

以上で、委員会を閉会いたします。

---

閉　会　午後4時47分